

2020年6月16日

記者発表要旨

菊全印刷に新風を RMGT 970 モデル登場

リョービMH I グラフィックテクノロジー株式会社（代表取締役社長：広川 勝士、以下 RMGT）は、菊全判オフセット印刷機 RMGT 970 モデルを発売します。

1. 開発の概要

オフセット印刷機は、全世界的に生産性向上やコストパフォーマンスが求められる中、多様な用紙サイズに対応できる機械を導入して、生産能力を高める傾向が続いています。特に、日本でもっとも流通する菊全判用紙（636×939 mm）に対しては、さまざまな菊全印刷機が開発され市場投入されています。

創業7年目を迎えた RMGT は、業界最大規模の drupa 2020 展示会に向けて、前身会社が培ってきた「新しい発想を採り入れた省エネ・コンパクト設計」と「堅牢で長期間稼働し続ける高精度なモノづくりの技術」を合わせて、社をあげて取り組んでまいりました。もっとも大切なことは何か！と追求し、いまの環境社会に適合する新商品として、多様な業界で利用される印刷物に求められる「新時代の新たな菊全印刷機」を開発しました。

昨今、紙や印刷資材の値上がりで印刷コストが上昇する中で、RMGT は菊全紙ジャストサイズの 970 モデルを投入して、時代の要請に応えていきます。

2. 主な特長

1) 菊全紙ジャストサイズ

最大紙寸法は 650×965 mm で、市場でポピュラーな菊全判用紙（636×939 mm）をフルカバーします。菊全紙による両面印刷、K 判（650×950 mm）用紙によるパッケージ印刷にも対応可能です。カラーバーや PQS-D 見当調整用マークがゆとりをもって配置できる最大 640×930 mm の印刷範囲を実現（両面印刷時は 630×930 mm）。A4 判の 8 面付け印刷はもちろん、非定型仕上がりサイズの面付印刷まで幅広い用途の印刷に対応します。

2) 優れたコストパフォーマンス

これまでの菊全サイズ機と比較した場合、刷版コストを約 20%、消費電力を約 34% 削減し、コストを大幅に削減します。また、コンパクト設計により設置スペースを約 30% 削減し、今まで設置スペースの面から諦めていた工場にも菊全機の設置が可能になります（削減率は当社調べ）。

3) 毎時 15,000 枚のワンパス両面、即乾印刷で短納期対応

片面・両面兼用印刷機には倍胴、倍胴、単胴方式の自動切り換え反転装置を搭載。毎時 15,000 枚の両面印刷で生産性を高めます。さらに LED-UV 乾燥装置を反転装置と排紙部に搭載することで、両面の即乾印刷に対応。後工程への待ち時間を解消し、短納期印刷のご要望にお応えします。

4) 幅広いバリエーションと厚紙印刷対応

片面と片面・両面兼用の 2 色機から 10 色機までの幅広いバリエーションをラインアップし、コーティングユニットを装備可能です。さらに高容量の給紙・排紙パイルと新設計のシリンダー径により、厚紙印刷適性を向上させました。

5) 小ロット連続印刷の稼働率を高めるスマートアシストプリンティング (開発中、オプション) 画面のタッチパネル操作でインキプリセットからブランケット洗浄、版交換、テスト刷り、見当合わせ、濃度調整、本刷りまで全自動かつノンストップで行えるスマートアシストプリンティング機能を新開発。ジョブ交換の頻度が多い小ロット連続印刷の稼働率向上を実現します。

6) 印刷品質管理システム PQS-D (I+C+R) (オプション)

印刷機上の CCD カメラで印刷中の用紙を撮像、用紙を抜き取らずにインラインで印刷物の品質管理を行います。不良紙流出を防止し、品質保証体制を強化するとともに、印刷作業の自動化を支援します。

7) ベンダーレス版クランプを採用した自動刷版交換装置

刷版交換作業を自動化する半自動刷版交換装置 SPC (標準)、全自動刷版交換装置 FPC (オプション)、全自動同時刷版交換装置 Smart-FPC (オプション) を用意。すべての刷版交換装置には、ベンダーレス版クランプを採用しており、版曲げ作業の段取り時間を解消します。

8) ユーザーフレンドリーな給紙部・排紙部のタッチパネル操作

印刷開始、カウンター設定、給紙エアープリセット (オプション)、給紙タイミングチェッカーなど給紙部での各種操作、設定/確認作業をタッチパネルで行えます。また、排紙部ではバックガイド/サイドガイドの調整、排紙ファンの風量調整など駆動側のダイヤルを操作側タッチパネルに集約し、排紙部での作業性を向上させました。どちらのパネルにもエラー内容表示などモニタリング機能を充実させ、オペレーターの作業をアシストします。

3. 主な仕様

	970ST-2/ 970PF-2	970ST-4/ 970PF-4	970ST-5/ 970PF-5	970ST-6/ 970PF-6	970PF-8	970PF-10	
印刷ユニット数	2(2/0, 1/1)	4(4/0, 2/2)	5(5/0, 4/1) 5(5/0, 3/2)	6(6/0, 5/1) 6(6/0, 4/2)	8(8/0, 4/4)	10(10/0, 5/5)	
最大紙寸法	650 × 965 mm						
最小紙寸法	970ST(片面印刷機): 290 × 410 mm 970PF(片面・両面兼用印刷機): [片面印刷時] 290 × 410 mm, [両面印刷時] 370 × 410 mm						
最大印刷寸法	970ST(片面印刷機): 640 × 930 mm 970PF(片面・両面兼用印刷機): [片面印刷時] 640 × 930 mm, [両面印刷時] 630 × 930 mm						
紙厚範囲※1	970ST(片面印刷機): 0.04 ~ 0.6 mm [厚紙仕様(オプション)は最大 0.8 mm] 970PF(片面・両面兼用印刷機): 0.04 ~ 0.5 mm						
最高印刷速度※2	970ST(片面印刷機): 16,000 枚/時 970PF(片面・両面兼用印刷機): 15,000 枚/時						
版寸法	700 × 945 mm(位置決めピンピッチ: 780 mm) 版の厚み(仕立て合計): 0.48 mm						
ブランケット寸法	800 × 955 mm						
給紙/ 排紙 紙積高	給紙: 1,100 mm/ 排紙: 1,100 mm(給紙、排紙共、パレット含む)						
ノンプリンティング エリア	10 ± 1 mm						
機械寸法	全長※3	6,380 mm/ 7,051 mm	8,350 mm/ 9,021 mm	9,335 mm/ 10,006 mm	10,320 mm/ 10,991 mm	12,960 mm 14,930 mm	
	全幅	3,098 mm				3,453 mm	
	高さ	2,011 mm					

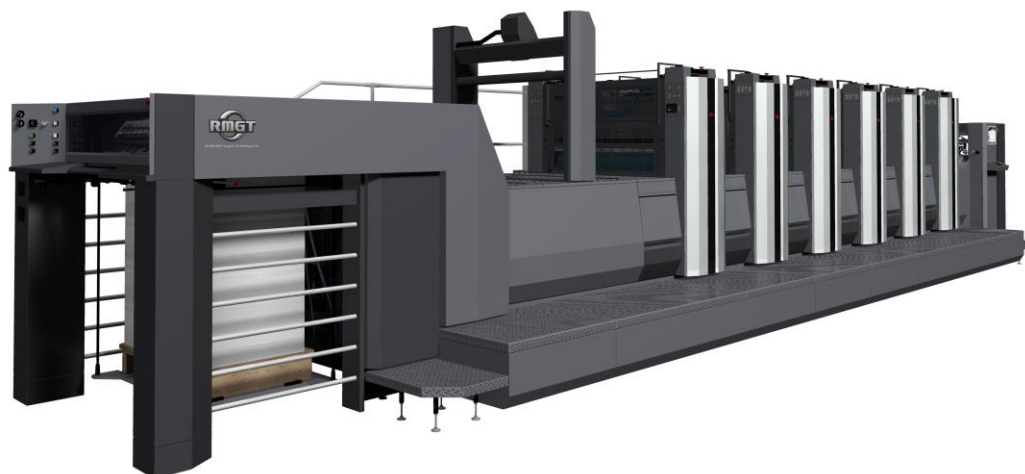
※1 印刷する用紙の種類によっては、印刷可能な厚さに制限があります。

※2 印刷速度は、要求される印刷品質、環境条件、使用するインキや版材、用紙の種類によって異なります。

※3 スタンダードデリバリーの仕様です。他のタイプの詳しい情報は、営業担当者にお問い合わせください。

4. 出荷予定時期
2020年冬

以上



RMGT 970ST-5+CC

お問い合わせ先

リョービMHIグラフィックテクノロジー株式会社 営業統括部 担当:足立
〒114-0003 東京都北区豊島 5-2-8 Tel.03-3927-3300 Fax.03-3927-5716
email: t-adachi@ryobi-group.co.jp